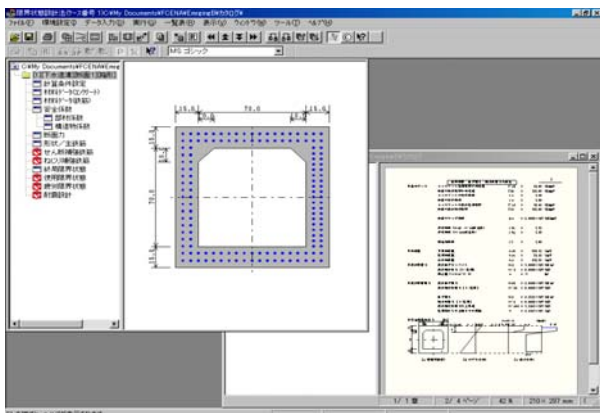


RC断面計算 EMRGING レベルアップ内容

Ver. 12.3 【2009/9 リリース】



モデル図

- 計算途中の各パラメータの計算式を報告書に出力する機能を追加(限界状態設計法)
- 途中結果、及び最終結果のCSVファイル出力機能を追加

過去のバージョンアップ

Ver. 12.2 【2006/9 リリース】

- 限界状態設計法と許容応力度法の断面形状/鉄筋配置データ、材料データの強度・弾性係数(鉄筋・コンクリート)の連携が可能
- emrging起動時、計算結果がゼロに設定されるように変更
- 入力データ修正中に同一データを読み込むとき修正中のファイルを保存するか否かの判定を追加

Ver. 12.1 【2003/3 リリース】

- 計算機能を強化
 - ① 二軸曲げに対応(矩形断面、箱型断面:許容応力度法のみ)
 - ② 耐震検討の部材係数の入力機能を追加
- ReportViewer, ReportBuilder のWORD2000, 2002, 2003出力に対応

Ver. 11.2 【2002/5 リリース】

- コンクリート標準示方書[構造性能照査編](2002年)に対応
 - ① 曲げ軸方向耐力の算定方法の変更
 - ② 設計せん断耐力の算定方法の変更
 - ③ 曲げひび割れ幅の算定方法の変更
 - ④ 塩化物イオン濃度の検討の追加
 - ⑤ 安全係数の見直し
- 曲げひび割れ幅の要否判定を追加
- M-φ曲線図、数値の出力機能を追加